

## 第 1 回珠洲市復興計画策定委員会・地区住民意見交換会 意見と対応

※(委)：復興計画策定委員会、(地)：地区住民意見交換会

## (1) 基本的考え方に関すること

No	対象部分	意見概要	対応方針 (案)	修正頁 (資料 8)
01	基本理念	一次産業をベースとし、アートや先駆的な技術と融合していくというなら分かる(委)	古から続けてきた珠洲の農林水産業を改めて復興の光と捉えた上で、アートや先駆的な技術を取り入れていく内容に、基本理念を修正する	P1
02	基本理念	今まであった生業を一つのベースとしていろんな付加価値をつけてやっていく進め方という解釈で良いのか(委)		
03	基本理念	何のために街を作り、生業をしていくかを考えたときに、やっぱり子供のため、次世代のためだと思う(委)		
04	基本理念	基本理念に市民生活を守ることがあるとよい(地：三崎)		

## (2) 復興計画に関すること

No	対象部分	意見概要	対応方針 (案)	修正頁 (資料 8)
01	1-1	合併浄化槽にしたいが、下水道区域であるため整備できないと言われた(地：宝立)	1-1 市民生活を支える公共施設の強靱化において上下水道インフラの最適化を図る	P5
02	1-4	避難所での役割、必要なものの整理をし、市民が共通認識を持つ必要がある(地：正院)	1-4 被災者への支援の充実に避難所の自立型エネルギーの整備促進を位置づけるとともに、複数の事業で避難所の整備や運用強化を進める	P8
03	1-4	集落単位で避難できたことはよかったため、今後の災害対策に取りこんでほしい(地：日置)		
04	2-1	何よりも住宅が大事。まず自分の立つ位置が決まらないと何もできない(委)	2-1 暮らしと住まいの再建に仮設住宅や災害公営住宅の整備、ワンストップでの相談体制の継続を位置づけ、住まいの再建を推進	P10
05	2-1	残るためのいろんな選択肢を市民は考えている。相談窓口、施策を考え、新たな生業等に入っていきことが大事(委)	2-1 暮らしと住まいの再建において生活再建支援総合相談窓口(仮称)を位置づけ、ワンストップ相談体制を継続する	P10

No	対象部分	意見概要	対応方針（案）	修正頁 (資料8)
06	2-1	我々の地区は津波が来た。波返しをどうするのか、そもそも家を建てられるのかということが一番気になる(委)	2-1 暮らしと住まいの再建に 10 地区の復興プラン策定を 位置づけ、地区別の課題・方針の中で、津波からの安全性確保を検討	P10
07	2-1	津波がきたが、高台等の整備や、防波堤を高くするという考えはあるか(地：蛸島、正院、直)		
08	2-1	壊滅的などころに関して小規模集落ぐらゐの木造戸建てのまちを作ることができないか。新しい技術を活用した災害に強いモデル的な街である(委)		
09	2-1	コンパクトシティを目指すべきである(地：)		
10	2-1	避難所にいたとき、蛸島のような平地に行きたくないという声を聞いた。かさ上げ、防潮堤がいいのか、地盤改良をしていくのがいいのか、高台移転も考えてほしい(委)		
11	2-1	区画整理はできるのか、市主導で進められないか(地：正院、蛸島)		
12	2-1	春日野と鵜飼について、歩道を広げることも考えてほしい(地：宝立)		
13	2-1	スマートシティのような考えで、集合住宅を整備し、上下水も強くし、地震に備えたらどうか(地：蛸島)		
14	2-1	新しいコンパクトシティを目指すべき(地：上戸)		
15	2-1	まずは人が帰ってくるのを早くしてほしい(委)	2-1 暮らしと住まいの再建に 仮設住宅や災害公営住宅の 整備を位置づけ、整備を進める	P10
16	2-1	若い人を珠洲市にどう残すのか、出ていった人がどう戻ってくるか(地：飯田)		
17	2-1	仮設住宅の整備を急いでほしい(委)		
18	2-1	避難所で避難している方に、どういふ状況になったら避難所から出て落ち着いて暮らせるようになるかを示してほしい(委)		
19	2-1	住んでいた町を単位に、5、6軒の集		

No	対象部分	意見概要	対応方針（案）	修正頁 (資料8)
		合住宅を整備すれば、元の地域に住むことができる(地：蛸島)		
20	2-2	お宮やキリコ、神輿が壊れてしまい、市として補助できないか(地：三崎、日置、上戸、若山)	2-2 祭りの再開支援、文化財の再建に取り組む	P11
21	2-2	寺の修繕を検討してほしい(地：正院)		
22	2-4 4-1	DXを活用するのは良いが、里山里海を活かした教育が質の高い教育である(委)	2-4 学びの環境の再建にふると学習、SDGs 学習を位置づける。また 4-1 に里山里海を活かした体験や探究的な学びの推進を示し、進める	P12 P20
23	2-4	仮設住宅が小中学校のグラウンドに建っている。学校はどうなってしまうのかと心配(委)	2-4 学びの環境の再建に应急仮設グラウンドの整備を位置づけ推進する	P12
24	2-4	仮設住宅があり、学校のグラウンドが使えない(地：正院、飯田)		
25	2-4	学校に関して高校が含まれていない。飯田高校も体育館が4分の1しか使えない状況で、修繕してほしい(委)	高校に関しては、石川創造的復興プランに「能登に誇りと愛着が持てるような「学び」の場づくり」が位置づけられており連携して進める 道路に関しては国、県、事業者と連携した復旧事業の促進で、機能回復を進める	—
26	2-4	飯田高校の坂道は砂利だらけであり、部活動も傾いた体育館でやっている。身近な場所の復旧が大事(委)		
27	2-4	学校の統廃合について、考えてほしい(地：正院、蛸島、三崎、宝立、若山、飯田)	2-4 学びの環境の再建に保育施設、学校施設の集約及び子育て環境の充実を位置づけ、検討する	P12
28	2-4	倒壊家屋を見ながら通学する子どものメンタルケアをしてほしい(地：宝立、若山)	2-4 学びの環境の再建に被災した児童の心のケアを位置づけ、取り組む	P12
29	2-5	高齢化が進んでおり、医療も含めて面倒を見ていただけるような福祉施設を作っていくことは考えているのか(委)	2-5 医療・福祉・介護予防の再構築に地域医療の再建と医療と介護の連携強化を位置づけ、必要機能は地区別の計画で検討を進める	P13
30	2-5	障がい者のホームに挨拶しにいくが、外の避難所になじめず、他の同居の方に迷惑をかけてしまうという	2-5 医療・福祉・介護予防の再構築に福祉人材の確保・離職防止を位置づけ、取り組む	P13

No	対象部分	意見概要	対応方針（案）	修正頁 (資料8)
		声があった(委)		
31	2-7	公民館を拠点とする地域力の強化とあるが、今の公民館組織がどうなっているかを考えたら、新たな地域コミュニティ組織を再編しなければならない(委)	2-7 公民館を拠点とする地域力の再建において取り組む。コミュニティのあり方を地区ごとに検討する	P14
32	2-7	集会所、公民館も被災している。コミュニティづくりを支援してほしい(地：上戸)		
33	3-1	商業関連の事務所の実態調査など商工会議所との連携も必要(委)	商工会議所との情報共有、議論を進める 3-1 被災した事業施設等の早期復旧・復興支援を進める	P15
34	3-2	飲食店等の場所が減っており若い人たちやお酒が好きな人たちのための場所があればよい(委)	3-2 事業再建までの支援に位置づける	P15
35	3-2	仮設商店街が飯田で計画されている。他の地域で町ができつつあるが店舗がない(地：正院、蛸島、直)		
36	3-3	計画の中で林業の比重が少ないように感じた(委)	3-3 農林水産業の再建に地域の生業再生、被災した農林水産関係施設等の早期復旧・強靱化を位置付け	P16
37	3-3	基盤となる田んぼをどのように整備していくかをある程度計画に出してかないと、残る人も残っていかない(委)	3-3 被災した農林水産関係施設等の早期復旧・強靱化を位置づけ進める。	P16
38	3-3	田んぼであるが、今年は水不足になる。復旧を急いでほしい(委)		
39	3-3	何を基本ベースで復旧していくか、個人的には農林業だと思っている。(委)	3-3 農林水産業の再建において進める	P16
40	3-3	農業、漁業ができる環境づくりが必要(地：三崎)		
41	3-3	田んぼの排水がパンクした。復旧をお願いしたい(地：日置)		
42	3-3	農業用のため池が大規模崩壊し貯水率は4割であり、4割しか田植えができない(地：上戸)		

No	対象部分	意見概要	対応方針（案）	修正頁 （資料8）
43	4-1	移住や定住、子どもを増やしていくことを考えないといけない。引手数多だが、採用した人の住居がない（委）	4-1 移住・定住の促進を位置づけ、進める	P20
44	4-1	移住者の立場であるが、今回の地震で家が壊れたり、潰れたりという時に、借りている家のため立場が低く、住む場所が無くなって出ていかざるを得ない仲間が多かった（委）	4-1 移住・定住の促進において、U・I ターン相談窓口の機能強化を位置づけ、進める	P20
45	復旧	ドローン事業として、山道が寸断されて荷物が運べないところなどで力を発揮している（委）	1-3 危機管理対応の検証と充実において、国、石川県、事業者と連携した復旧事業の促進で先駆的な技術の例となる	P7
46	地区別の課題・方針（住まい・まちづくり編）	みんな瓦が嫌だと言っている。ハウスメーカーがいい。黒瓦はきれいだが、見た目と実用性、安全性はどうか（委）	地区別の課題・方針（住まい・まちづくり編）の方針2-1において景観を位置づけ、地区別計画で検討する	P29
47	まちづくり編	どんな方向で景観をつくっていくのか（地：飯田）		

（3）復興計画の進め方に関すること

No	対象部分	意見概要	対応方針（案）	修正頁 （資料8）
01	全体	危機感が足りない。もう少し大変なんだという市民の声が反映されるべき。スピード感を持ってやっていく必要がある（委）	地区住民意見交換会を進めるとともに、短期重点施策を位置づけスピード間を高める	P4
02	全体	市議会の関わりがどうなっているのか（委）	議会と意見交換を進める	—
03	全体	財源はどうなっているのか（委）	国、県との連携、復興基金の活用等で進める	—
04	スケジュール	短期中期長期で色分けをしてほしい（委）	短期重点施策を位置づける。各施策、事業ごとに時間軸をもちながら進める	P4
05	スケジュール	大事なものは復旧。優先させるべきものもあると思うが、復興につながるレベルアップした復旧があり、そこにリンクさせて踏み込んでいくこと	施策ごとに担当課で優先順位（タイムライン）を作成	P4

		が必要(委)		
06	心のケア	危機感は大事だが、超激務みたいにならないようなケアを、市民一人一人に対し、行政も含めて通底してあった方が良い(委)	復旧・復興に関して、国・県・民間事業者など連携、作業分担をしながら進める	—
07	情報発信	委員会の内容を含めてオープンにしていくべき(委)	委員会の内容を含め公開する(各種会議等の内容、議事録等を公開中)	—
08	ヒアリング	復旧のためのリスクが多くあり、それでも小さいところでも何か復旧できないかヒアリングすべき(委)	地区住民意見交換会を中心にヒアリングを進める	—
09	検討の場	行政に負荷がかかっている状況で、人が足りない。議論を活性化、頻度を上げることで解決策を見つける必要がある(委)	地区住民意見交換会、有識者会議、小中学校ワークショップ、すず若者意見交換会など議論の場を増やしている	—
10	検討の場	意見交換会を、意見が出しやすいようにテーブルごとに話すなどのスタイルにするのがよい(地：直)		—
11	検討の場	意見交換会に参加できない、意見を言えない方から意見をもらう方法を考えてほしい(地：三崎、宝立、上戸、若山)	全市民向けアンケートを実施する。SNS(LINE等)を通じて復興計画に関する意見聴取を行っている	—
12	検討の場	区長会に働きかけ、住民で話が進むようにしてほしい(地：蛸島)	今後地域毎の検討を進める予定	—